

平成25年度山内図書館の目標と振り返り

目標1 司書の専門性を発揮したサービスを充実します。(サービス目標)			
取組項目	山内図書館の具体的取組	実施状況	評価
蔵書再構成5か年計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> 市民の学習活動、課題解決支援のため、幅広い年齢に対応した図書を収集・提供します。 青葉区は男女共に長寿の区であることから、シニアの人生に関連の深い図書を多角的に収集・提供します。 単行本、文庫本、外国語図書ともに寄贈資料の受入れを積極的に進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集方針に沿い、市民の学習活動、課題解決支援に関した図書は各世代・ライフスタイルに応じた資料を収集し、218冊を受入れました。シニアに関する図書は当館の貸出が多い分野の資料を収集し、200冊を受入れ、目標値を大幅に上回ることができました。 寄贈は積極的に受入れを行い、目標値を大幅に上回っています(一般3,040冊、児童235冊)。文庫本に関しては1,670冊を受入れ、昨年度の2倍となっています。 	B
子ども読書活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが本を読むきっかけとなるような企画展示を実施します。 子どもの調べ学習を支援する講座や図書館の利用方法を案内する講座を実施します。 小学4年生～中学生による図書館サポーター企画「やまちゃんキッズクラブ」を継続して実施します。 学校連携担当を窓口として、教職員や学校ボランティアから学校図書館運営や環境整備に関する相談を受け付け、支援します。 児童や生徒を対象に、図書館見学や職業体験を受け入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、子どもが本を読むきっかけとなるような企画展示を実施しました。 「新学期、読んでみようこんな本」 同リストの他に「おひぎにだっこで楽しむ絵本」、「ヨコハマの子どもが選んだ150冊」リストの設置・配布と掲載本の展示をしました。 「夏休み、読んでみようこんな本」 リスト配布とリスト掲載本の展示をしました。 「本の紹介ポスター展示」 青葉区内小学校の児童が作成した紹介ポスターを展示しました。 「小学生のための調べ方講座」(参加7人)「夏休み一日図書館員」(参加34人)「新聞の読み方、正しい情報のつかみ方」(参加22人)といった、子どもの調べ学習を支援する講座や図書館の利用方法を案内する講座を実施しました。 小学4年生～中学生による図書館サポーター企画「やまちゃんキッズクラブ」を3回実施しました。 6月「本の種類と分類を学ぼう」(参加3人) 10月「やってみようおはなし会」(参加5人) 3月「おすすめの本を紹介してみよう」として開催。10月実施のやってみようおはなし会では、全2回とし1回目を読み聞かせの練習、2回目を本番として秋のおはなし会へ参加しました。 学校図書館運営・環境整備に関する相談に応じました(12校)。 図書館見学(延べ669人)、職業体験(39人)、職業講話(1校54人) 	A
市民の学習活動・課題解決の支援	<ul style="list-style-type: none"> 市内の大学や青葉区と連携し、市民のニーズとライフスタイルに合う講座、展示を実施します。 図書館の活用方法や本の探し方を支援する講座を実施します。 昨年度新設した郷土資料の探し方のホームページコンテンツの項目を増やし、内容の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市立大学と連携した数学講座や、青葉区福祉保健センターとの共催展示「介護予防パネル展」を実施しました。 大人のための調べ方講座(初級編)を実施しました。参加者からは「図書館を利用する生活を始めたいと思った」という感想もあり、利用促進に繋がりました。26年度も引き続き講習を実施する予定です。 平成24年度に新設した「郷土資料の探し方」は、従来の項目に「青葉区の植物」「青葉区と太平洋戦争」「米軍機墜落事故」の3項目を追加しました。 	B
地域情報の収集・提供の推進	<ul style="list-style-type: none"> 青葉区内の地域資料を軸とし、郷土資料や一般に流通しない資料の収集に努めます。 地域資料のデジタル化をすすめ、ホームページあるいは館内利用のタブレット端末で利用ができるようにします。 市民に昔の風景写真の提供を呼びかけ、ホームページ「青葉区風景写真データベース」を充実させます。 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料は、関係施設の資料収集以外にも、一般に流通しない地元伝統芸能の資料の寄贈を受け、360冊を受入れました。 新しい地域資料のデジタル化は、準備に予想を上回る時間を要し、完成することが出来ませんでした。26年度に公開する予定です。 	C

<p>地域と連携した読書推進活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティア向け読み聞かせ講座を実施します。 ・学校ボランティア相談日を設け、ボランティアのスキルアップを図るとともに交流の場を提供します。 ・「夏のおはなし祭り」を継続実施し、地域で活躍する読み聞かせボランティアの活動と交流を支援します。 ・地区センターなどで図書修理のボランティアを支援する講座を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小学校での読み聞かせ講座初級編・全3回」を6月(会場:山内図書館)と12月(会場:美しが丘西地区センター)に開催しました。(受講者は延べ71人)学校ボランティアが多い地域なので今後も開催予定です。 ・5月から1月まで8回開催。その内6回は、本の修理ステップアップ講座、2回は、読み聞かせステップアップ講座として開催しました。受講者がスキルアップをして学校で指導的役割を担っている人も増えているようです。(受講者は延べ129人) ・8月1日(木)午前10時～午後8時に開催。参加者は延べ960人(子ども521人、大人439人)と昨年を上回る人数でした。今年で3回目となり、利用者、参加ボランティアともに「夏の恒例イベント」として楽しんでいる大型事業です。 ・藤が丘地区センターで「修理のための製本講座」を実施しました。講座を機に地区センターで修理ボランティアを募集したところ、参加者の半数から「やってみよう」という声があがり、市民の読書推進だけでなく、図書室を持つ地区センターにとっても有意義な講座となりました。 	<p>B</p>
<p>多文化サービスの展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の図書の収集を行います。英語の寄贈図書の受け入れを積極的にすすめます。 ・アフリカ開発会議が6月に横浜で開催されることを広く区民に知ってもらうために、アフリカに関する展示を行います。 ・青葉区の国際交流ラウンジに出向いて、図書館のPRをすすめ、利用促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を大幅に上回る外国語図書の寄贈を受けることができました。ただし、整理に時間を要したことから、受け入れ処理は一部しかできませんでした。 ・区民交流センターまつりの日に青葉区国際交流ラウンジに出向、登録ブースを設置するとともに、利用案内、ホームページの紹介など図書館のPRを展開しました。 	<p>C</p>
<p>市民協働の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなしボランティアと連携した毎月の定例おはなし会と、「子ども読書の日」「はまっ子読書の日」や夏休み期間に合わせた特別おはなし会を実施します。 ・図書館で活動するボランティアのための「わらべうた講座」を開催します。 ・図書館においてボランティアによる図書の修理を定期的に行います。 ・図書館で活動するボランティアのための修理・製本講座を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなしボランティア「空とぶじゆうたん」と連携し、定例おはなし会を継続実施しました(年間 71回)。また、「春の特別おはなし会とミニ工作教室」、「はまっ子読書の日 秋のおはなし会とオリジナルしおりづくり」等の特別おはなし会も実施しました。 ・「わらべうた講座」を11月に開催(参加12人)東京子ども図書館のわらべうた講習会に参加した職員よりボランティアの方へ実演を交え紹介しました。 	<p>B</p>

目標2 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します。(管理運営目標)

取組項目	山内図書館の具体的取組	実施状況	評価
<p>市民の意見が反映される仕組みづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山内図書館利用者フォーラムを開催し、利用者の声を図書館運営に反映させます。 ・アンケートにより、図書館利用者満足度調査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者フォーラムを開催しました(年2回)。図書館運営に関して、さまざまな立場の人から意見をきくことができました。昨年度意見としてあがった「託児サービス」を、今年度事業として開始しました。 ・図書館利用者満足度調査を行いました(年1回)。昨年度、この調査の中から浮かび上がった「サインの改修」、「無線LANの使用可能範囲の拡大」に取り組みしました。 	<p>B</p>
<p>身近で便利な図書館サービスの充実についての検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書取次サービスの利便性をPRするとともに、使用方法について周知し、利用者が支障なく利用できるよう情報提供に努めます。 ・駅ポストの使用頻度が高くなる時期は回収回数を増やすなど円滑なサービスを目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> (駅ポスト回収冊数 496冊/日) (夏季駅ポスト回収冊数 123冊/日) (冬季駅ポスト回収冊数 143冊/日) 利用者の声に応え各駅ポストに本の回収時間を表示し、利便性の向上に努めました。利用者のポストの利用時間が遅くなっているのか2回目の回収冊数は減少しましたが、夏季期間の返却冊数自体は年々増加しており駅ポストの2回目回収は利用を促進する一助となっています。 	<p>B</p>

目標3 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます。〈独自目標〉

取組項目	山内図書館の具体的取組	実施状況	評価
ホームページや印刷物による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に新設した「学校支援」・「郷土資料の探し方」・「キッズページ」・「スマートフォン用」のページを随時更新します。また、「新聞・雑誌一覧」をPDFから検索しやすいページに変更し、幅広い世代の方が利用しやすいホームページを目指します。 ・図書館だよりやメールマガジン・ブログを用いて、本の紹介や図書館からの重要なお知らせを発信し、読書推進とともに、利用者みなさまが図書館の情報を色々な手段で入手できるような広報を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのアクセス数は前年比13,856件増(1月末時点)を記録しました。 ・新設した「学校支援」・「郷土資料の探し方」・「キッズページ」・「スマートフォン用」のページを随時更新しました。また、「新聞・雑誌一覧」をPDFから、資料の頭文字で検索できるページに変更し、幅広い世代の方が利用しやすいホームページ構築に努めました。 ・季刊(年4回)の図書館だよりや、メールマガジン(月2回)、ブログ(随時更新)を用いて、図書館の情報を様々な手段で入手できるように努め、また、非来館者へのPRを行いました。 	C
危機管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の巡視を強化し、安全面からの点検を行います。 ・地震などの災害発生時に速やかに対応できるように防災訓練を実施します。 ・死角にミラーを設置するなど、設備の見直しを図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に館内を巡視し、安全面の点検を行いました。 ・消防署へAED講習を依頼し、全員受講しました。また、地震などの災害発生時に速やかに対応できるように防災訓練を行いました(年2回)。 ・死角になる部分にミラーを設置しました。 	B
個人情報管理の徹底	<p>個人情報保護研修をスタッフ一同に実施し、個人情報の適切な取り扱いを徹底します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修をスタッフ全員に実施しました(2回)。 ・職員会議やスタッフミーティングの際に、ヒヤリハットを報告し、改善方法を協議しました。 	B
窓口での利用者対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・接客研修を実施し、市民に好感を持たれる対応を学びます。 ・スタッフ全員がクイックレファレンス(簡単な質問)に答えられるように研修を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客研修の実施(年1回)やクレーム対応研修への参加などにより、接客の向上を目指しました。 ・職員会議、スタッフ全員でのミーティング、職員とスタッフのミーティングなどで、利用者の声を共有し、改善の必要な事項について話し合いました。 ・スタッフの研修を実施し、システムの使い方および資料の探し方のスキルアップを図りました(年5回) 	B
図書館環境の整備	<p>館内のサイン(表示)や案内図を見直し、利用者が使いやすい環境を整えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で館内サインの見直しを図るとともに、人間工学の専門家の意見を取り入れて、新しいサインを作成しました。 ・館内に観葉植物、館外に寄せ植えを配置し、美化を図りました。 	B